

良き地の産物の余剰と

真実の中での父なる神に対する団体的な礼拝

聖書・申 8:7-10, 12:6-7, 11-12, 18, 16:15-17, エペソ 3:8, ヨハネ 4:23-24

- I. わたしたちが「余剰」という言葉を用いるのは、イスラエルの民が神を礼拝するという目的のために、良き地での労苦からの彼らの産物のある部分を取っておいたからです——申 12:5-15, 17-18, 20-22, 26-27, 14:22-23, 15:19-20, 16:16-17:
- A. 良き地の産物の余剰は、キリストを予表します——8:7-10。
 - B. イスラエルの民は、カナンの産物を神にささげ、神と共にそれを享受しました。
 - C. 良き地の産物の余剰を享受することは、キリストを団体的に享受して、神に対するわたしたちの礼拝とすることを予表します——エペソ 3:8。
 - D. この予表の新約の成就によれば、わたしたちは団体的な方法で神を礼拝しに来るとき、わたしたちが経験したキリストを持って来なければなりません——エペソ 3:17-18, コロサイ 1:27, 3:3-4, 11。
- II. もしわたしたちがすべてを含むキリストの上で忠信に労苦するなら、わたしたちは産物としてのキリストの豊富を持ち、召会の集会の中でキリストを展覧します——エペソ 3:8, I コリント 14:26:
- A. クリスチャンの正しい生活は、毎日キリストの上で労苦し、こうしてキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに展覧することです——I コリント 14:26:
 - 1. わたしたちは召会の集会で共に集まって、キリストを展覧します——コロサイ 1:18, 27。
 - 2. わたしたちが日ごとにキリストの豊富を経験することを通して、これらの豊富はキリストの産物の展覧となります——エペソ 3:8, 17-18, コロサイ 2:6, 9-10, 17。
 - 3. わたしたちの集会はいつも、キリストが何であるか、キリストが何を持っているか、キリストが何を行なっているかを示す展覧であるべきです——ヘブル 1:3, 2:9, 14, I ヨハネ 3:8, 4:9, 15, 使徒 2:24, 32-33, 啓 1:17 後半-18。
 - B. わたしたちが集会して展覧するのは、神によってわたしたちに与えられたキリストだけでなく、わたしたちが産出したキリスト、すなわち、わたしたちが労苦し経験したキリストでもあります。これが、わたしたちが共に集まって展覧するキリストです——コロサイ 1:12-13, ピリピ 3:10。

- C. わたしたちが絶えずキリストの上で労苦するなら、わたしたちはキリストの豊富な余剰を持って集会にもたらし、キリストを豊かに展覧します——Iコリント 1:24, 30. 10:3-4, 14:26。
- D. いつであれわたしたちが共に集まるときは、わたしたちがどのような種類の集会を持つかにかかわらず、わたしたちが経験した余剰としてのキリストをもって来て、神にささげ、全宇宙と敵に展覧し、敵を辱めるべきです——ヨハネ 4:23-24. エペソ 3:10, 17, 4:15:
1. そのとき、わたしたちの集会は、キリストに満ちているので、豊かにされ、強められます——コロサイ 3:4, 10-11。
 2. そのような召会生活は、キリストの展覧、すなわち、キリストの表現です——エペソ 3:21。
 3. わたしたちはキリストの余剰をあらゆる集会にもたらし、キリストを展覧する必要があります——8 節。
 4. わたしたちは、日常生活の中でキリストを享受し、そして共に集まって彼を展覧する必要があります——Iペテロ 1:8。
- E. わたしたちは正しいクリスチャンの集会を持つために、わたしたちの個人的な生活の中で日ごとに主と接触し、それから、わたしたちはキリストを展覧しキリストを他の人たちと分かち合うために来るという認識と理解をもって、集会に来る必要があります——Iコリント 14:26。
- F. 「集会するたびにキリストを持ち寄り、彼が賜ったあり余る豊富を、神の食物として共にささげ、このようにキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。来てキリストを展覧しましょう。共に豊富を持ち寄り、来てキリストを展覧しましょう」——詩歌 624 番 1 節と折り返し(全訳)。
- III. わたしたちは、すべてを含むキリストの上で労苦して、キリストの余剰を持って召会の集会にもたらし、わたしたちの父なる神を団体的に礼拝する必要があります——ヨハネ 4:23-24. エペソ 3:21:
- A. 「四十年以上の間[1982年に語られました]、わたしは神への真の礼拝に関して戦ってきました。この戦いはまだ勝ち取られていません」——ウィットネス・リー全集、1982年、第2巻(上)、「ヨハネの文書における幕屋とささげ物の成就」、第15編。
 - B. 御父は、わたしたちが彼を礼拝するために、キリストの収穫物をもって御父に来ることを要求します。こういうわけで、わたしたちはキリストの豊富をもって召会の集会に来る必要があります——ヨハネ 4:23-24. エペソ

3:8。

- C. 毎日、わたしたちはキリストの上で労苦して、キリストの豊富の収穫物を持ち、召会の集会にもたらし、父なる神を団体的に礼拝すべきです。キリストは高く上げられ、キリストの栄光は現されます。そして御父は喜び、満足します——申 12:6. 16:15-17. I コリント 14:26. ヨハネ 4:23-24。
- D. 極めて重要な事は、わたしたちが勤勉にキリストの上で労苦して、わたしたちの手をキリストで満たし、それから召会の集会に来て、この豊富で栄光に満ちたキリストを、神の子供たちと共に、また父なる神ご自身と共に享受することです——I コリント 10:31. 14:26. ヨハネ 4:23-24. ローマ 15:6。
- E. わたしたちは主の食卓の集会に来て、主を記念し、御父を礼拝するときはずっと、わたしたちが日ごとにキリストの上で労苦することによって産出されるキリストの豊富をもって来なければなりません——申 16:15-17：
1. キリストをもって神を礼拝することは、互いに、また神と共にキリストを享受することによって、神のすべての子供たちと共に、集団で神を礼拝することです——I コリント 14:26。
 2. わたしたちは十分なキリストを産出して、余剰があるようにし、他の人たちと分かち合い、その産物の最上の部分を父なる神にささげて、彼の喜び、歓喜、満足となるようにする必要があります——申 15:11. 18:3-4. 12:11。
- F. これら最後の日々に主は、キリストに対する真の経験を回復し、集会においてキリストの豊富の余剰を展覽します。それは、キリストのからだとしての召会を建造するためであり、花婿の来臨のために花嫁が用意を整えるためです。
- IV. ヨハネ第 4 章 23 節から 24 節によれば、わたしたちは霊と真実の中でわたしたちの父なる神を礼拝する必要があります：
- A. 真実とは、啓示された神聖な実際(三一の神が御子イエス・キリストの中で人の中へと分与されること)が、わたしたちの真実と誠実になることです。それによってわたしたちは、神聖な光に一致する生活をし(I ヨハネ 1:5)、また彼が何であられるかにしたがって、神が捜し求めておられるとおりに神を礼拝します(II ヨハネ 1 節. III ヨハネ 1 節)。
- B. 神聖な実際を享受することから、人の真実 (truthfulness) と誠実 (sincerity) と真摯さ (genuineness) が生じます——ヨハネ 4:23-24. I ヨハネ 3:18. II ヨハネ 1 節. III ヨハネ 1 節。

- C. 真実とは、人の真摯、誠実、真誠、信頼に足ること、信実であって、神聖な實際が流れ出た人性の美德です——ヨハネ 14:6。
- D. ヨハネ第 4 章 23 節から 24 節の「真実」が示すのは、神聖な實際が人の真摯と誠実となって、神に対する真の礼拝になるということです。
- E. 神聖な實際は、生ける水(命を与える霊)の源泉としてのキリストであって、信者たちはこのキリストにあずかり、このキリストを飲みます。そして、このキリストが彼らの内側の実際となり、最終的に彼らの真摯と誠実となって、その中で彼らは、神の求めている礼拝をもって神を礼拝します——ヨハネ 4:10, 14, 23。
- F. 真実の中で御父を礼拝するとは、わたしたちの存在に浸透して、わたしたちの個人的な実際となったキリストをもって、御父を礼拝することです。これは、神聖な實際である三一の神をわたしたちが経験し、享受することを通してです——23-24 節。